

平成 23 年度 室内環境学会第4回役員会議事要旨

日 時：平成 23 年 12 月 7 日（水）14:00～16:00
場 所：静岡県立大学 環境科学研究所 12210 室
出席者：小野、中井、東、関根、雨谷、樺田、野崎、
濱田（以上実出席）、柳、篠原（委任出席）
事務局：中島、色摩（実出席）、松木（委任出席）
欠 席：柳沢

議事次第：

1) 平成 23 年度学術大会に関する連絡事項等

雨谷大会長より挨拶、会場の説明等があった。今年度は口頭発表が例年より多めであり、予算は概ね昨年並み、収入は若干減る分、大学から補助がある等の報告があった。ポスター賞については「学生」「修士・博士課程」「一般」の3部門に分けたとの説明があった。

2) 平成 23 年度事業報告

小野会長より資料 2 に基づき報告があった。会員数はほぼ現状維持、学会誌及びニューズレターは例年通り発行、4 回の役員会、1 回の評議員会を開催した他、2 件の講演会・シンポジウムを主催した等が報告された。

3) 委員会等報告

学術委員会：東委員長から報告があった。まず地域文化財保全分科会が発足したこと、H24 年度から会員向け助成金制度を導入すること等が報告された。また出版委員会から提案されていた査読者賞について具体的な説明があり、いくつかの議論を経て承認された。今年度の受賞者として松木秀明会員と川上裕司会員が選考されている旨の報告があった。なお、第 10 巻以前の（室内環境学会誌時代の）査読者についても対象とすべきとの意見があり、資料を整理して来年度以降の表彰対象とすることとなった。

燃焼器具ガイドライン作成 WG の設立について議論があり、H24 年度から活動することが認められ、予算 5 万円を次年度予算案に組み込むこととした。なお代表には野崎淳夫東北支部長が選ばれた。

その他、化学物質分科会、燃焼器具分科会、微生物分科会及び文化財保全分科会での今年度の活動についても報告された。

出版委員会：関根委員長より今年度の学会誌発行、出版委員会の開催状況、また見直しをした査読方

針、学術委員会と連携して査読者賞を起案したこと等について報告された。

事業委員会：文書により 9 月に開催した講演会の内容等について報告された。

広報委員会：文書により 5 回の委員会開催や、HP のリニューアル、バナー広告及び会員拡大ポスターの作製等について報告された。

社会連携委員会：中井委員長より、まず法人会員に対するアンケート調査の準備がほぼ整ったとの報告があった。日韓台の MOU については韓・台に提案し、概ね同意を得ている状況であり、4 月の台湾での学会において更に詰める予定であるとのこと。内容には合同英文誌の発刊や論文アブストラクトの相互掲載、定期的な合同シンポジウム等が含まれるため、大会長、広報及び出版委員会の所掌内容と関係するが、交渉作業については社会連携委員長に一任することとした。

支部活動報告：樺田九州支部長より 1 月に開催した越境汚染に関するシンポジウム、また大気汚染と健康に関するセミナー等について報告があり、濱田関西支部長からは 2 月に「災害時の室内環境の課題」というセミナーを開催した等の報告があった。野崎東北支部長からは放射性物質汚染に関して、建築学会の WG と連携して取り組んでいる等の報告があった。

その他、事務局から H23 年度の事務局活動について報告された。また協賛等の基準について不明な点があるので、事業委員会と事務局間で連絡をとりつつ確認することとした。

4) JST 事業進捗状況

JST アーカイブ (Journal@rchive) 及び J-STAGE に関する進捗状況について報告があった。順調に準備を進めており、早ければ春に一部公開の可能性もあるとされた。

5) 平成 23 年度中間収支報告

事務局より、H23 年度の中間収支報告があった。特に委員会等の活動費については年度毎に精算となるため、残金は会計口座に返金するよう依頼

があった。

6) 平成 24 年度事業計画・予算案

小野会長より、次年度事業計画について説明があった。また併せて予算案が示された後、議論があった。特に新設する助成金については、20 万円の予算でスタートすることで評議員会に提案することとした。

6) その他

・事務局より会員動向について、増減なしと報告があった。

・事務局より、新評議員候補者の推薦がある旨報告された。

・今年度室内環境学会永年賞に遠藤耳鼻咽喉科・

アレルギークリニック、株式会社トクヤマ、白門建設興業株式会社、新コスモス電機株式会社が選ばれたこと、論文賞には吉田俊明会員の「Estimation of α -pinene absorption in the Japanese resident based on toxicokinetic analysis in rats by inhalation exposure」に決定した旨報告された。

・最後に次年度学術大会は東海大学高輪校舎で 2012 年 12 月 15・16 日に開催予定であることが発表され、関根嘉香大会長から挨拶があった。

以 上